

911.3

1 \

新刻俳諧線衣目錄

四季の詞

句衣の事

雜の詞 薔薇の花

句衣補衫撰

意の詞

句衣の扱

切字 十知二のぬ

句衣の事

三の

句衣の事

俳諧の式 五月花の定坐

句衣の款

句数の事

句衣の款

十六篇の句数

線衣之書述俳諧体格及四令定辞使鄙為都俗為雅也末附蕉翁十六篇以充吟詠之備也嚮自曰刻肇行雅客騷人無不需得珍藏以故梓字漫滅戊戌歲更再刻矣自尔至今改鑄凡五矣今茲又復芟煩補漏新上梓以便于風流云

天明元辛丑歲五月

文刻堂主人題

春正月

立春 孟春 聖節 睦月 上陽 初空日  
青陽 初陽 大簇 夏正 端月 吉而月

元日 雞旦 年始 改年 歳且 新春 年頭 年礼 三のちりめ

日のちりめ 納祿 くら空 わく玉のひ 四方の春

御代の美 忍り喜 夕代の春 明の春 宿の美

年まらる 四方祿 福壽草 元日茶 星唱少

氷の標 元日節云 御茶と信 くらり子 屠蘇白散

櫻赤葵 恵方 恵方棚 歳徳神 削りけ

園うさめ かく見條 襟葉 函乃ホ うら白

いねつむ いねあさる おさうり 門松 海老うさる

勝竹はら 日炭 日繩 泡連うさる 松飾

大少く ちん條 雑莢 具足鏡 やし男

庭うまや 福うさる 恙水 井筒 萱葉うさる 喰つこ

初し泥豆 左箸 倭子 旧紙 押結 救の子

穂長 年玉 ぶりく 毬抄 袖さきう 孫子のこ

庭久 子子 ちりつく くら板 初冠のこ こさきりこ

福引 寶引 破戸 矢 弓なりめ 着ひらき

湯殿始 苑子始 馬松 紫初 悪をげめ 吉書うめ

筆試書初 舟出祭 初爰 初高 くら川曆 店ふろー

藁白連飲 去冬今冬 くら鶏 釣節夕せら 松の内

えせ賣 松籠子 万歳女歳 万歳系 雑初詣初

弾々め 初芝居 節小社 せら抗葉 猿引鳥追

大馬路 人日菘 子の日遊 子の日の松 子の日夜

万葉摘 七種 いそ葉摘 初寅祭 薩おろし

箕尾富十日 為陸葉十日 緑石アサヒ 卯枝灯籠 万葉ひて

十日夷 境ひくさ 男踏飲 十日年紙 おこり

懐とら 徳曳さ 左長 ことんと 御藪三カマキ

小豆粥十日 粥本粥杖 粥占 山笠ふ 厄神系

緒弓 初天神 御忌 东风 沙とける

菽入 魚氷よ宅 弥雪 舌解雪間 雪かき

嫩急とら 木の芽 卜崩 豊ヒナ 茶葉 氷入茶

夷釣 万草 蕨のとら 芹根白系 三葉せり

喜登とら 本比の炉縁 万葉系 夷嘗膳 鶯衣

霞横とら くらとら 八重とら 多きこの綱 くらみの海

くらとら 霧の神 霞衣 黄笹 くらとらの洞

くらとら くらとら 初縁 十之りの花 くらとら

栲 飛心丸 白栲 好文木 端看栲

この花 常宿栲 白ひ羊 春つけ艸 獲むめ

柳 玉柳 川柳 白ひ柳 門柳 岩柳 風見草

青柳 志ろ柳 柳ろり 柳ろり 乙こ柳 とぬ柳

三 此以下ニ要ふらる 釣鷺 継尾 約鳥

百子鳥 鶯 白ひ鳥 金衣鳥 秋とる鳥

経とる鳥 鶯の要ら 白ひ鳥籠 黄鳥 鳥まつる

海苔 志のり 櫛のり 加こ酒若 心トさ

くろく皮 モック 湯を 獨活 防風 烏茅

ワラめ 于大栲 けさひ 芥 藪 于草

玄筆 糸搥 ちけろふ 春ぬさ 初射

蛸 堀 ちけろり 冬さる 猫の意 飯こ

果鳥 佐保姫 膏雨 冬ぬさ 冬ぬさ 冬ぬさ

あまてり 鉾麻 ウマカ 春ぬさ 春ぬさ 春ぬさ

栲多枝ろふ 青柳ろふ 氷交日 逢交日 几巾

春ぬ 柳 炭の粉 椿 白玉 藪つんさ

山と焼く 芝と巻く 焼野 山椒皮 野老とろ

牙久る 涙鳥

春 二月

仲春 如月 花朝 美景 衣更夏  
夾鐘 中陽 令月 梅見月 小葶生月

吾野 燦配

釋奠 初年

真日祭 上甫

比良公海

二日灸

新能 七ヨリ

若文能 日

社日

雪の別日果

猶月

種 シ

種 シ

種 シ

苗代

漢詠 柱

先昔  
小野 御忌

涅槃會

祢人像

仏の口 多

さり佛

法華酒

彼岸

變化 鳩

初雷 初電

多の菜

雛子

すま 多

菅

燕 泉

白鳥

うほ 多

て 多

松 じ

帰る 鳥

鳥の志 妙

鳥の口 多

少 鳥

鳩 多

海 鳥

雀の子

鳥梅

八重梅

海梅

さ 鳥

菜梅

花 多

初梅 初菜

さ 鳥

糸 多

さ 鳥

廉の蘭 花

薊 花

眉 花

菊の口 菜

ワ 菜

小 多

鞍 多

菜の花

大 鳥

よ 菜

秋 菜

あ 鳥

せん 鳥

柏 花

早 菜

か 鳥

田 螺

蝶 蛇

蜂 菜

小 鳥

麻 鳥

か 鳥

蛇 花

桜 木

草 摘

春 後

目 鳥

う 多

の 鳥

二 月

春 三月

弥生 季春 蚕月 姑洗 寅月 春惜月  
禊月 桜月 竹秋 桃浪 花朧 花見月

己の日の枝 次歴の枝台 上己 槐の芽付 曲水の宮

槐花の節 りの酒 蓬蔭 葎りち 雛糸

雛さくら 心か棚 帝雛 心か並ひ 母子蔭

鶯合 青と踏ひ 石清水糸中午 花法の糸 稻荷のお出中午

石山糸三 粟は糸三 春燈と式三 順の巻入 壬申念仏台

ふか念仏 暖縁急佛台 御身拭十九 隅田本念仏十五 浅糸糸十八

食を 汐干 屋と花 杏カラモの粥 青粘飯

御親供共 萍始生 惣とささく 時の果 茗の果

呼子名 せよりる名 名返る 麦うりる 田代鶴と成ル

諸の果 様貝 のり藻 さらる魚 桜綱

様うりひ 素子蟹 名結 小結ひ 柳葉魚

梔 姉り 白鹿 能梔 碧梔

三子代糸 みさこ州 桃林 桃の夫々 毛りの糸

様 山さらる 浅黄様 溜さらる 暖糸

くさハ様 塩邊様 倅勢さらる 江底さらる 大さらる

八重様 蕨草さらる 万由さらる 子かさらる 春生糸

人元ささろ 勝ささろ うえ橋 白ひささろ 虎の尾

匠ささろ 谷ささろ 普賢像 花ささろ 鉢ささろ

座ささろ 糸橋 家ささろ 病仍橋 相谷ささろ

かき草 橋田 ささろ物 橋人 ささろ戸

重井の橋 一重橋 曇滅橋 孝妃橋 多ちり橋

太山府君 あさ草 羞尼州 不乃橋 志れ橋

花 花のゆき 花の雪 花の雪 花の雪 花のゆき

花の多き 花の色 花の流 花の流 花の流 花の流

花の丘 花の唇 花の心 花の宿 花の宿 花の宿

花園 花の姿 花の姿 花の姿 花の姿 花の姿

花うら不 花の望 花の望 花の望 花の望 花の望

花島 花の衣 花の衣 花の衣 花の衣 花の衣

花の巻 花の衣 花の衣 花の衣 花の衣 花の衣

花軍 花見車 花の盆 花の盆 花の盆 花の盆

花くこ 花見酒 花の夜 花の夜 花の夜 花の夜

花よ磁 花の面 花の夜 花の夜 花の夜 花の夜

花の友 花の友 花の友 花の友 花の友 花の友

御過 深山下 音鳴下 音鳴下 音鳴下 音鳴下



花のつゝ 冠く候く 小式アア 江戸つゝ 関山つゝ

菖 菖あま 菖う枝 菖うろく 菖うらら 菖うらら 菖うらら

や棚 菖つか 白ゆー 菖毒 菖蔓 山吹

赤南花 小糸花 棗の花 あせふの花 山吹

金盞花 秋葉つむ 月人の花 楊梅の花 山吹

木蓮花 木瓜の花 かつかけ 桜の花 蕚坊の花

杏子の花 李の花 梨の花 山梨の花 秋のつゞき

秋の浦(海) 海棠 辛夷コツエ 口ふふー 小ひかり

柿のとう つむか ちくご摘 ちふと糸 蓮池州

令鳳花 けちん糸 丁子糸 車菊 車菊

あつま菊 かりら菊 菊柱くき 菊苗 ころろ糸

九輪糸 七重花 仙臺せんたい めうろくけ 三月茶

三月大根 菜摘 菖菰 弥生山 山吹衣

つー衣 糸折柳 通草の花 柳の絮かた 竹の秋

蛙鳴 八十八夜 口のまね 秋草 喜の名草

喜の糸 喜の足 喜の糸 喜の糸 喜の糸

喜の糸 喜の糸 喜の糸 喜の糸 喜の糸

喜の糸 喜の糸 喜の糸 喜の糸 喜の糸

喜の糸 喜の糸 喜の糸 喜の糸 喜の糸

喜の糸 喜の糸 喜の糸 喜の糸 喜の糸

夏

四月

初夏 首夏 卯月 乾月 卯の空月  
中呂 孟夏 早夏 鎮月 花名抄月

更衣

白くま

恰 綿費

青簾

筑广糸 一日

稲苅の糸 一日

氷屋の籠 三日

鈴四糸 四日

灌佛

仏生衣

仏のうら湯

浴佛

鈴花舎

花御堂

又香衣

練供装

香四糸 十日

松尾糸 中申

加茂の糸 中酉

日光糸 十七日

葵車

花供

地と糸 九日

八咫糸

多賀糸 上巳

日名糸 中甲

林と燈

柳さき

梅天

芋杵

荇の花

牡丹

あぐさ糸

廿日杵

名とり糸

富貴草

とらい糸

花玉

芍薬

あひま草

燕子花

うつろ

くまゆ

あひ糸

二葉糸

葵うら

くまゆ

五葉

小わゆ

玉巻芭蕉

あぢく草

一八 ちやが

ちやうひ

芥子の花

風車

てんせん糸

若少

踊花

菜引糸

卯の花

卯花衣

卯糸

若楓

若葉

つららの糸

つららの糸

つらら

葉さき

実さき

新樹

夏木立

木下や

ちけり糸

菜花

桐の花

花枕

美人杵

柑敷の花

ひまりの糸

白丁花

山苜の花  
さきらの菜  
岩梨の花  
一巻紙  
飯せり

郭公  
葎草  
さかすか  
菰の子  
荳銀 附紙

かんの名  
初糺  
糺釣  
和法の子  
孫蟻

笋  
たうんか  
齋時蔬  
和法の子  
梅少虫

葱檜  
麻袋角  
もろこし  
菰葉の落葉  
蓮の落葉

蓮玉  
紫菜  
茶せん草  
麦秋  
麦の秋風

青麦  
初むせひ  
まうか  
扇  
蓮のまゝ  
日口う根

(三) 北沢下ニ夏ふり  
夏菊  
青山楸  
根いも  
海松  
蕨

くろご  
あささ  
蓼  
紫種  
くろご本

于鰯  
洗ひ綿  
荳 鶴  
青蜻  
通一鴨

川楳  
蝙蝠  
蚊喰ひ鳥  
鴉亦  
鴨佃

鴨川  
鴨縄  
螢 地  
蚤 衲  
蚊 怪

坂中火  
まのう地  
蚯蚓虫  
蝸牛 蝇  
酒理丁尺

後夜  
明やせ地  
秋古の菜  
麦粉  
妙麦

冷汁  
煮豆  
煮酒  
芋物  
妙麦

汗  
汗拭ひ  
暑 扇  
うちこ  
風炉

一夏  
夏入り  
夏草  
夏入  
夏入  
一夏  
安居

夏

五月

菴實 茂林 皋月 四五月 日見ぬ月  
仲夏 橘月 鶉月 早苗月

加茂豆播 一日 松糸 一日

秋菖蒲 言

加茂の競馬 廿日

生玉平 廿日

菴森 廿日 杉園射 言

御霊會 九日

端午

日暮 言

菖蒲

蓬 言

刺のあやめ

柏豚

糍 競丘

笹ちり紙

さうぬ湯

さうぬ甲

さうふのちり

さうぬ刀

けつり 廿日 甲

さうぬ性子

百子 言

茶日

茶玉

茶畑つむ

菖蒲

菖の机

菖蒲の花

さうふ酒

さうふ砲

さうさ玉

枕守 言

六日菖蒲

水交棍

菖ろ

糸團

茶浴

水馬

跨射

宇治糸 廿日

室の神糸 廿日

坂中社糸 廿日

宛猪俣

大糸糸 廿日

佐倉内極 廿日

あむくさ 言

山田扇

林輿洗 廿日

賑給 言

さつ泥の澆

みまの目

又目雨

さこ 言

水養生

入柄

つり

菅草 言

早松葺

生るる

百合

笹ちり

正 言

始ちり

鬼ちり

車ちり

さゆり

晴多ちり

うのこちり

鎌ちり

度 言

葉 言

本 言

葉 言

蛇 言

石菖

茄子

生菖

花 言

萍 言

藻より舟 藻の花 藻を刈 ばふいの花 菱の花

和希と刈 紫陽花 巴里の草 ちくの花 さるとりの草

トつもの草 ぐくの花 卯の花 赤つむ花 らん草

ワシ草の草 鶴草 悪草の花 合根花 如釣草

くま草 さい月 くらつ 合飲の草 花ざくら

ひやう柳の草 林の花 せんえの花 天南星 菊の花

青梅 くら梅 わあち 杏子 枇杷

萱草 梅子 うら梅子 石らく 粟の花

蕨 子日紅 せうりひ 苧夏 ちらう草唯子

小蘇 白瓜 あさうり 于瓜 照トモ射

おぬけ草 鶉の菜 ぬきの菜 鴨の子 蕨

麻の子 螢 ちる梅 蚊やり 蚊より

蝶の初巻 又目園 ちり竹 ちり竹 席共雨

田植 早乙女 田入草 ちり田 玉苗

早苗とる 菘苗 田草とる 葉の突 梅漬

梅と下 梅むき 小梅の突 ちり草 菽ちり

空豆ひく 菘草ちく 梅とく ちり草 豆梅

ちの粉 麦粉 粉ち 水糖

夏六月 林鐘 旦月 瓜期 水忌月 葦友月  
 季夏 精陽 遯月 風俗月 唱律月

氷室 氷室の巻 氷梅鏡 氷より叱 氷室の橋

富士侍 六月會四日 巖鴉十日 竹鴉十日 熱田十日

庚戌系 兎山十日 修習系十日 天滿街十日 嘉定十日

祇園會七日 長刀鋒 函谷不こ 月不こ 鶉不こ

菊不こ 放下不こ 和不 岩戸山 占出山

孟宗山 郭巨山 蟠蛇山 琴破山 白承天山

方子山 木賊山 芦刈山 花盗人山 山伏山

天祚山三 笠峰 鴉井十日 鯉山 惡候山

悪ま山 及びま山 鈴麻山 齋山 觀ま山三

舟不こ 唐まの涼十日 一ま酒 こそけ 破まササ

賀まの能十日 川社 夏ま菰 名ま菰ま 名ま神ま系

瓶代 芽まの肺 菱ま費 鞆ま竹切 齋ま存まの智

夕ま立 よまうら 暑 女ま用ま丁 虫ま不ま

三伏 簞ま多ま言 竹奴 竹婦人 抱ま鏡

納涼 涼まこ 川系涼 月涼 参涼

日傘 風ま草ま 雲まのま 清ま水 水版

心志 ココロシ

菖水

丁版備

さうりト

碧油化方

ひの海造 ヒノウミゾ

川骨

百日和

さうり

楊梅

アムコ

蓮

落葉

白蓮

甚の虫系

取蓮

つせ蓮系

竹の皮とろ

竹のまむく

蒲の穂

浮浮

蒲と川

浮葉

かひの草

紙と紙系

凌青

虎尾の花

風葉

釣子草

さうり系

夏枯草

赤草

青晃灯

まどうじ

麻

さくく麻

麻荊

夏草

夏成の糸

かきむし

綿の花

ゆうこの子

菖の花

むあふさ

蒜の根

腐化堂と派 モロトシ

瓜

ちうり

かき瓜

美来瓜

娘うり

水うり

胡瓜

糸瓜の花

冬虫の花

益敷

心まこの草

テ狐むく

射テ

移りを産

益州

火とり虫

こら虫

毛虫

蟬

蟬のうらな

結約

せこし捨

緑

仲法

くさけな

川猪

雀丸

夏少

涼とこ糸

伝言編

樹毛

夏之草

夏少

夏と送

夏草

夏の子

朱ね秋

秋と送

秋とくさ

体の海

炎天

秋

七月

孟秋 初秋 夷則 蘭月 女の元月  
明景 首秋 桐秋 女月 又云 石け月

立秋

夕の秋

夕の秋

夕の秋

秋の初風

一葉

桐の葉落

初涼

秋涼

秋の暑

柳葉

一葉舟

相楳

柳葉舟

柳葉舟

日中拂

楳持

七夕

楳の葉舟

楳の葉舟

夕星の舟

夕星

夕星

夕星

夕星

星の舟

夕星舟

七夕つれ

女七夕

男七夕

二ツ星

星の契

牽牛

織女

系舟舟

星のやう

天の川

銀河

銀漢

星合の漢

妻星の舟

妻星舟

星の舟

鵲の橋

星の橋

硯洗

机洗

乞巧奠

七箇の池

七夕の葉

立琴

七夕鞠

七日節句

羊の葉舟

秋の衣

文珠會

六道森

送の舟入

中元

清水十日坊

盃蘭盃

盆供

施飯寇

盆供

生身鏡

聖盃會

魂柩

ふか経

楳の葉舟

瓜の馬牛

舟火

送り火

迎火

碁糸

舟のつと入

こそ萩

舟の舟

舟の舟

枝さけ

麻の舟



蓮の版

蓮の葉巻

う結

盆市

草市

燈籠

舟さうろ

揚灯籠

花さうろ

切子さうろ

糸さうろ

籠さうろ

高燈籠

踊

小町さうろ

浮路さうろ

景目せうろ

念仏さうろ

本尊せうろ

松さうろ踊

三井苦坊十音

大文字の火十音

鳥居火

舟形の火

妙法の火

夏書籠

夏明あ

経本流

こさ山糸七音

稲广糸

地籠糸

秋綿

花火

稲妻

稲のとの

初嵐

徳虎化

扇密く

うらと捨ろ

書とえ

次麦

あつ麦

本槿

草の花

女而草

男一

釣くふ

さくぬり

俵さうろ

萩

萩

糸えさ

小えさ

萩の綿

席巻草

楓

柞

仙露花

親音草

翁草

茶師草

おと切草

益母草

せせ旗

せせ草

うら人の花

せく玉の花

紫菀

蘭

あらくさ

あらくさ

小車の花

忍の子草

おんしよけ

やいと花

栞の葉

本丸の葉

夕舟の葉

徒走花

栞の花

くさねの草

蓮の葉巻

浪柿

書くさ

秋浪

浪さうろ

浪つく

刀豆

西瓜

東棗

瓢 初春うたん 百あり 子あり 西巻穂

鳩や 初春粘 州出の鷹 鷹山つぎ 秋の鳥

初春粘 二十十日 本綿とり 稲の花 富貴の雲

子稲 窓の子よせ 稲葉の影 秋の蚊 秋の螢

虫合 松むし 人々の虫 蚊 蚊 さらくも

もこどり くのこ虫 いがし 酒さり いかこ

いかま くさ泥の虫 虫 くと虫 るおの虫

蜻蛉 鬼さんやう 赤とんぼ 秋凍虫 蛸

ほくろじ 秋の蝶 秋の蜘蛛 浅草親香 四万六千日傍 十日

藤まじむ虫の巻まなうく 音小唱とつけぬ秋まあくとと

(三) 此以下三秋小ワラウ

神の音 志く音 うら音 音 音の体

音の音 音の音の音 音さめ 音の音 鈴さり

夕さり 狗の音 萩 萩殿 萩の戸

萩 萩の萩 され萩 萩のうら風 下萩

月の桂 月の音 照る月 弓張月 三日目

立田娘 紅葉 紅葉の音 紅葉の音 紅葉の音

川りこち 冬見草 萩 くらさき さらり

麻袴

即糸名

女一ウ

男一ウ

麻の妻衣

麻巾

小簪

袴

片一ウ

ウケ袴

鳴一ウ

うつゝ簪

うつゝ網

鳴

鳴のねり

不と鳴

川糸鳴

結やふ

裂ふち

小簪川

江針

虫

うと鳴

この虫鳴

着

青梨子

あうの夾

本あー

あかー

うさび

茸袴

松一ウ

初一ウ

初茸

推一ウ

ト俗一ウ

いらら

嵐一ウ

お一ウ

馬皮一ウ

折一ウ

そ物一ウ

ま一ウ

柁のうら

柁の夾

柿印葉

様りら

芋日葉

山のいも塘

午席川

虫いこ

ぬうこ

糸瓜

どうか

ホウフウ  
糸瓜

紗薑

菓

兎煙

おたこ

推

椎葉

美葛

葛の葉

厚来印

兼袴

雞冠花

忍ぶ草

女草

聖の草

うらや

秋草

こと草

焼こめ

稲糸

稲こく

稲刈

小四書

葉山子

多と

鳴子

浮水

引板

稲下川

稲むら

稲垣

秋風

身巾

心巾

肌衣

秋衣

秋

八月

仲秋 葉月 壯月 懸月 杳月  
南呂 竹春 桂月 月夏月 扇来月

八朔

このむの日

白紙の用性音

水野糸音

埤天神祭日

おぼろ糸音

菅太臣糸音

御灵糸音

故生糸音

司石音

月

待宵

十六夜

しら待月

辰すち月

亥中月

十五夜

三日月

名月

ふしの月

秋月

月々音

月のあけ

月の弓

月の舟

月の香

さやまき月

月の洗

月の兔

玉兔

桂このり

月の都

夕月お

月の友

月と友

盆の光

蛸蛸

蛸蛸

芋名目

芋の月

各高き月

月小株拾さうさうかき付くしれ  
おきてて更科小月付てうらうらま

芋月の杓

杓亭

杓むえ

後の彼岸

蛇空入

初汝

菱蓉

本座の花

うらの花

花型

蔀

志のせき

糸蔀

花と文

尾花

一りし蔀

たのねとこ

字作花園

花束

盆の花

紫苑

鬼の志と葉

竹の香

月音

赤葉

草の文付

牡丹

野山又つく

野山の錦

野分

風仙花

くまお葉

穂のしら

金割茶

くまつるの花

鴨上戸

くまお葉

あけひ

夢の花

穂とそ

かきその花

けこその花

うそ瓜

かき瓜

檀栲花

あはつあき

白粉の花

鳥カサ足

袴襪

あや足系

梅と花

とろろのむ

たしこの苅

苧麦の花

芦の花

苧の穂

いとろの美

水ひきのむ

玉づく苧

ひまゆり

小倉ぼろ

稲負習名

唇

初唇

唇子

けり唇

唇の掉

唇のあき

唇の使

白唇

振まろ

赤る唇

又多

つくそ

むし食

啄木鳥

山雀

心々

心々

罕々

みずく

不あ

鴨 鴨

鴨雀リ

弱名ヒハ

連雀

巨まが

月白

やうこ

鶺鴒ク

菊ウ花

鶺鴒ミヤコ

不しろ

あざ

鶺鴒百合も

鶺鴒の子

鶺鴒の茶花

鶺鴒の目鏡

鶺鴒チ

うろ鶺鴒

あざこ

隼こ

本名

砧

夜うり

志こチ

四こチ

あやせ

小葉

弓川な

つとこな

編川

秋の田

田川

田とち

田の産

田又つく

八束穂

八束穂

種少く屋

かり舟

芥子花

大根う

苗地

初穂に穂

牡丹の分根

半葉明

秋

九月

季秋 暮秋 長月 卯月 小田月  
晚秋 菊秋 菊月 麻月 本末の秋

御燈三日  
北平奉

桂宮九月八日

くく酒九月

砥礮日

酒香の文日

重陽の宴九月

色九

菊九月

菓の葉日

菓の葉日

菊九月

菊瓶 菊酒

わさ酒

菓葉の袋

九日の礼

菊九月

四の宮十日

例幣十日

左奉十日

白川十日

佐吉十日

市十日

日蓮十日

生十日

徳川十日

神田十日

忌十日

あや十日

く十日

旗十日

渡十日

本十日

送十日

麻谷十日

小山十日

津十日

昭十日

忌十日

八幡十日

虫十日

野十日

秋酒

水十日

中十日

力十日

碓十日

名十日

ぞ十日

栗十日

本十日

著十日

籟十日

流十日

落十日

秋

空十日

下十日

所十日

重十日

加十日

く十日

後十日

十十日

豆十日

栗十日

ふ十日

月十日

菊

菊十日

百十日

十日十日

菊十日

九十日

即十日

久十日

め十日

銀十日

ワ十日

南十日

さい十日

菩提子

板の突

栢のこ

とら飯

甘ん入の突

樓のこ

椽の突

落椎

ぶくろ

新櫃

秋らりこ

秋松子

松家

拵靴

松子拵

柿

等柿

本練

熟柿

柿西柿

柿不

圓栗

久年母

聖山の綿

末柿

柿葉の赤

落らる

若の穂鈴

破芭蕉

落し水

細代柿

赤鞘

落付取

赤むす麻

尾截の鴨

紅葉拵

さ刀急

さうめろ

枳殻

竹の突

うり取

栗

落らり

紫らり

ささり

三ふひ栗

袋こり

焼らり

いう栗

とせり

栗拵

金人

柵

拵屋

拵味嗜

栗葉

豆りく

小豆りく

粉豆

初お

葡萄

ふとう酒

ぶつら田

塙雛糸

袖の糸

さく糸

あき

冷り 肌糸

お糸

新糸

や糸

うた糸

ま糸拵

新秋

柿らり後

秋らり

秋糸

秋と信

秋徳交

秋の足

秋の若柿

秋の糸

善の秋

糸と信

糸と信

糸と信

崔蛤と糸

九月糸

柿送り

冬 十月

玄冬 初冬 陽月 律亡月 仲冬月  
小春 孟冬 良月 時而月 冬功月

御言楮

亥の子の條

神の苗書

神の族

冬三十一

射場始 音

涉初の宴 音

大社神 中支

出雲神樂

達磨忌 音

赤福寺兩山忌 十六日

御新嘗 十三日

十夜

取反こ

神むら

下元

夷講 九日

燄筒文

巨槌切

炉火

茶口切

火桶

相火桶

時雨

川巻の時雨

松風の樹

夕ぐれ

村いそぎ

小振いれ

摸いれ

伸いれ

初霜

おのえうぬ

おむね

落葉

木の葉の雨

この葉衣

風

黄葉

落葉

菊うき

栞蔭

名の本栞

うき柳

木の栞

初雪

初氷

ゆり花

枇杷の花

葉の花

さくら

冬栞

冬菊

水仙花

冬牡丹

ふゆの花

つゆの花

栞の冬

冬栞

冬つる

氷急の使

雪の子囀

さく雪

麦府

涙面

冬垣

冬栞

冬車

冬の鈴

冬の花

冬借い

冬草

冬いれ

冬佛

冬見

冬地

冬構

冬落

冬



(三) 世以下三を小口り

大根引

茎ひき

くら菜

干菜約

純豆汁

葱チカ

種ヒ

ゆとじ

切丁

風炭大根

宝の梅

宝咲

ふ仙

くまゆ

冬埋

枯野

木くり

冬木立

宝咲棋

落葉

木の葉

くら菜

種炒る

鏡さわり

月夜

冬サ

おとをこ

網代古

わろ木

氷急

ふしつ草

子急

村らとり

鳴らとり

涙樹

浦らとり

川らとり

磯らとり

夕波樹

ちとり受

水急

うねねの急

蟹巻

鴨

まき鴨

其鴨

悪りも

鴨巻

どいの倉

あらの印倉

海龍

合龍

鶴

うら光

海龍

少と汁

初線

炭竈

炭とり

まつり炭

白炭

輪炭

炭洗

小野炭

堂炭箱

手炉

手あかり

湯婆シホ

火所

錦子

衾

袋少シホ

帟衾

巨燈

紙衣

紙巾

蒲團

九段巾

蒲段巾

朕ヒ

朕五り

吾衣

衣

吾吹

之それ

吾樹衣

冬 十月

仲冬 彼月 鴨月 神樂月 ちね月  
黄鐘 暢月 霜月 天正月 ち見月

曆奏 一曰

冬至

一陽起節

芒居親身世

宗祿祭

上卯

山科祭 上日

平聖祭

上申

社祭

日

梅宮祭

上卯

松尾祭

日

富广祭 申

右田祭

中申

日名祭

日

大東聖祭

中子

吹草祭

八日

稻の使

里祿祭

とこ衣

かきの神

日産の祭

日産のうら

うらうら

空也忌

三日

排さぶ

瀬火燒

みまつり

林さぶ

大前池

小さいり

春日祭

廿日

掛名

真日後日の能

宇賀祿祭

新嘗祭

中卯

豊明川流

中辰

大師講 廿四

山祿祭

庭燎

鷲墨講

被初め

酒の市

彼恩講

初孫名

名丸け

ちんね名

かひく名

たむ名

餅名名

名女名

名獅子

名布袋

名ちんね

名こり

六の花

あしゆり

氷柱

密氷銀行

凍氷

くせ氷

くせ氷

厚氷

氷の鏡

氷の鏡

氷玉梅

ちんね

ちんね

青干菜

かき名

猪吹の籠子

追名猪

暖名

名苦名

刀草

名猪

名猪

薬喰

こり

雪車

つらね

冬十二月

季冬 師走 臘月 壬午月 亥初日  
大呂 極月 除月 寅月 梅初日

乙子の節日

川守り候

お母御末

月次祭

正月奉始

御仏名 十九日

うさ御

ミンシヤケ 御發上 下午

心付和御神奈

又奈と神奈

年内と庚

追儺

おはなと

節分

正月川

松さむ

鶴返さむ

厄と

厄松

若田と松

太東 ぶこ 練

煉掃

煉拂

札納

室の入

室と

室念仏

室登つふ

室さむ

歳除仍年

歳書 歳尾

流々

年之川

吹盛 歳末

年の流

年之る

暦の末

節季

年終

岡見と

年の矢

とりの坂

年の流

年木推

とりの瀬

年のこれ

年の市

源末の市

年口これ

候掃

候花

うむ

練お

栢と栗賣 卯お板賣

破戸弓うり

星伝うり

脛と賣

樺葉うり

葉竹賣

飾松賣

子咲栞

早栞

妻と

妻と

妻と

妻と

室林の子

孟宗竹

と

鶯の巢

衣配り

公目

門

年終

大晦日

小つり

除夜

和布の神事

雜

季小なううさ源相

附雜の花の相

葉まの林

柿の宮

鳥山

うきあり

和泉の園

放生河

さく川

柳の浦

柳の水

檜の都

菖原の都

柗の森

富士の香

葉つ川

麻の南

藤ま原虫

この虫

鳩

うつあり

鶯の巢

鷗東

都鳥

玉むし

かき鳥

雪雀毛の羽

馬牡丹

千魚の乳

榎柏

椋

子種

葉まこけ

紫

末つむ花

空階の忌

落葉のま

藤殿

葉の花ま

葉版

葉汁

わけ栗

梅丁

葉柗

テワム

わり豆

鶯の巢

経うさう

榎あそひ

段の香

眉の裏

柗壺

柳柗

筆ま

細代屋風

細代車

葉泉

洞の花

花娘日舞

花の帽子

花田

花うら

花めり

浪の花

葉の都

花ひら

花子の粗云

花の草

花うら

花上花

葉うら

花丁子

花山花枝酒ふあうまのく字へくうくわたり

△まて二本空筆句ハ雜ニ

花の葉 異やをき 花の葉 葉と葉と 葉と又 口付ふりありのち 雜なり



うりそらんむさをかりかりやハハハハをかりいこ

いつまいつのこいふ何あそわとくまをかりハハハハ

い川りま。下知いてよせよあふをけまをくんよ

大畏いぬき。ぬの字。かひんぬき切字ありふのぬき切字小あふり又

考へ。心切字あり作借せうく。

。現在。白。色。遠。短。長。速。

。来。来。べ。あ。見。ま。

。ま。ま。わり。あ。あ。あ。

。ま。ま。の。ま。切字小あふりと知らん。



俳諧之式

百韻 七十二候 源氏 四十四ヨシ 歌仙  
月花之定坐

面八句 七句日月之定坐

裏十四句 九句日月月カ秋カ  
十二句目花之定坐

二面十四句 十三句日月

二裏十四句 初ウテ同

三面十四句 二之面三同

三重裏十四句 二之ウテ同

名残面十四句 三之面三同

裏八句 七句目花之定坐

。七十二候之式

七十二候も百韻の三の折面裏かふ一折抜きとふとのありはく  
七十二句うり月花の定座うりかふ。

源氏之式

面六句

五句目月之定坐

裏六句

七句目月秋  
土句目花定坐

二面十句

土句目月

二裏

初ウ之句

余波面十句

面同

裏六句

五句目花之定坐

四十四之式

殺席小世古あてま

四十四も百負の初折と名ろりの一折と合せと中四句あり二三の折裏面と扱ふ係物とあり一月の定坐の係物なり

歌仙之式

面六句

五句目月之定坐

裏十二句

七句目月秋土句目花之定坐

余波面十句

土句目月

裏六句

五句目花

句數之事

春秋

三句より五句とつく

夏冬

一句より五句小世初みと後白日月の季と  
おとあり付三季と入れ

意

二句より五句とつく

神祇

釈教

述懐

水色

山類

夜分

居所

一句より五句とつく

人倫

人名

名取

園名

降物

降物

坐類

抄物

時分

衣類

天象

飲食

藝能

比喩

比喩

火耕

二句より五句とつく | 書耕 二句より五句とつく

句數之事

人倫 人名 名取 國名 とびき物 降物 湯がふ 二字がふ

火晴 風辨 物と名を替ふる時分 日月星とらりて光り物  
本と竹と草とらりて挿物 虫を歎とらりて心生類  
・ 心のか二句をちりちりては日

同字生類 挿物 時分 夜分 夜歌 述懐 居所 旅辨 神紙  
釋教 意 帝常 山類 水色

月 松竹 田 菱 渡 枕 夜舟 睡 同季  
右のか三句去あり形ありてくも日一 同字八付句も嫌とて音別ちり  
おはあれは付ても分一 次大抵三句を神のまは三句をちりて  
本の字と本の字一方挿物ありて二句を是を以て替へ

月 松竹 田 菱 渡 枕 夜舟 睡 同季  
此かを二句去面形をくても日一月と二句をくると面とくとの事あり  
日面は月ニツセと 但月次の月ハ以て定みあり

同増補 彩撰

父母 男女 人倫の九例 主 誰身 獨媒 人倫と定て差合をさるるなり

僧 寺 人倫と定て差合をさるるなり 親王 皇女 天童 天女 御門

帝 仙洞 新院 鬼 佛 以て十品を定て又名くの説あれども人倫中を  
二句をくると御門を居りて三句をさるるなり

養業 郭公 松虫 水仙 名鶴 三日月 尾上 以て十品を定て又名くの説あれども人倫中を  
二句をくると御門を居りて三句をさるるなり

雪 魚 以て十品を定て又名くの説あれども人倫中を  
おはあれは付ても分一 次大抵三句を神のまは三句をちりて  
本の字と本の字一方挿物ありて二句を是を以て替へ

杉の意を一庄の座後みえりて 但見りて  
松い子の日 月と交科

一夜 香や竹田の舟路 菱かき



火膝 風 狛 豹 と名を替るる時分  
ヨレ子音ヨレ子音も連袂の由法ありて訓治上用かゝるべし  
凡そよま妻

欵キよ本 條よまら 華葉の首よ水魚 山依小山 夜分

眠の字 記の字 出 佐 此入和古式小夜分とのまとも 夜分と  
定とよま合をこらへうた

冠小鳥帽子 綿よ本綿 此立よま 函よ差 響よ指

此又和古式よつけをさうとわれ今式か  
嫌へへーまへと古今のちひあり

此二和古式も吳名の目付一ととてサコト 山 峯 風 嵐

嫌ふもさう 古今の通式あり

此はツと凡例なり

右増補一よも字を古の形撰之を私あわら古人の  
考あり熱一と天象地取能藝を後一とつるま  
字教を仍く用とて一理万通のゆなり

○ 手 糸 葉 の 袂 の 事

△ あく 留ん を ば へ も 加らん へん へん  
是を 七つ の てふ は なり たり

○ 折 紙 衣 の 事

△ 櫛 や 細 釣 の 糸 を や 生 糸 了  
あつ る ち へ 嫌ふ 折こ

○ 玄 嫌 袂 の 事

△ 衣 季 や 竹 田 の 糸 端 羨 糸 了

△連款もく面をくりとさくらふとの  
誑 踏中くも七句さる屋ー

△紙物の文字ハ背三すく さくらふ  
幾句や振も 面 きら けん

△さくてもお了をそれも二句嫌  
本 下 陰も日ー 屋さくそ

。用捨款の事

△懐めよ懐 盡 礼 世は火事 罪 科  
天災ふ頃 不孝 不忠 義

△近代の名人の姓名 官名も  
そまると 初めろも 白のうへはひ

△四民とも 今居る人の名を出さむ  
家くの秘事 家家の業

△定りとくま 意の白うまをつけよ  
従ひの産席 遊居のとく記

△俳歌と款乃の偽授あうハさく  
判 考も 息を のそく（さ）なり

△連款もく 堀川百そまくと引

俳 小も 二十年 末も せむ

右六首ハ板実の秋なり

送り字ヤウきひことは小あくなき  
樟の一夢 麻の菴ぢ

垣千山 蔭の谷 夕けあり

秋さり衣 玉のを柳

夜とよみつるを夜 夜と夜も

命のきりも 半をきりん

右之を視義ないむ

視言は裂<sup>サ</sup>退くいぬる 他いと飯

むとりやうひ 蝶の 縁<sup>タ</sup> 堪

障の約様の夢あまの 之原鳴

やゆ先 鳥の 進出の 障

妙宅よく火のうらさ 行つて

たさの なる 傷の なる

夏あまの 流る 流る 夏そさ免

障の 夏のく 流る せむ

進長了 若くは沈之 流る せむ

行禱し 小くは 叶りぬを せむ

元彼より 元山 元山 元山

元山 元山 元山 元山

增 十六篇句體

不易躰

(瘦) 獨もおれをそ花のうーゆふ山  
ゆり 賣の唇あつれくあひ見は

流行躰

(茶) の火てたんとむよう花見は  
夷隣 破賣小袴 君せふく

理屈躰

(井) の水のあさくあふりきうか  
形川 又富士の秋あさ沙千引

格式躰

(ま) ころぬや枕さひーさをもの  
梳家具の足くぬ佐居や菊の花  
約ひさの本骨や出く人三日の月

句の甘

(采) の戸や 暑を月よ取のーん  
名月 や 破うち せむ波のと飯

句の縁

(樂) 天も糸ハ恋ー花のうけ  
仇とりくく 如安さよとーの雲

常のう

(初) くくと扇をうさそ 暑の非  
鶏取の花のさうり や 八九 月

只言 護句場

(筆) や ちの 喜ふも 二三 本  
船 舟 や ちの うふも 二ツ 之ツ  
極 本 屋の 自 惚 二 石 止る 流 一 不  
賣 家 の 自 惚 小 見 止る 一 不

新刻六編改訂

取留の場

あく場

入ぬき場

受  
苦白の苦

来来と取句

多と放場

氣色

同一博

心の句

同一博

宗砌法師

天明元辛丑歳  
新刻六編改正

江都

本町三町目  
浅草御堂前

西村源六  
辻村五兵衛

版

伊の心や...  
不とさきを鳴や...  
水鏡流ひ流...  
苔の花  
苔も海向く...  
季の空を只一...  
多葉屋の音...  
親方子音...  
菓の萑...  
鹿船...  
船...  
松風...  
白妙の月...  
秋...  
夕...  
蓬...  
文月...  
角...  
益...  
但句意向...  
この乃...  
ふ...  
江...  
本町...  
浅草...  
西村...  
辻村...  
版

